



●目次

- 02 風の人
菊池範子さん
- 03 【特集】デジタルの波
地上デジタル放送について紹介
- 10 市からのお知らせ
現金着服事件のおわびとご報告/採血器具の不適切使用のおわび/6月1日付人事異動/税務課からのお知らせ/道路交通法改正のお知らせ/市長ひとこと/各種スポーツ結果
- 14 ニュース&トピックス
遊井名田トンネルが貫通/首相補佐官が助産院視察/南オーパーツが工場拡大/日赤へ災害救援金を寄託/ごみ収集車デザイナー新「仙臺屋」が有形文化財に
- 16 学びのいずみ
松竹特別公演「嘉島まつり」「狐狸狐狸ばなし」/遠野じんぎすかんマラソン/おすすめしたい本 ほか
- 18 まちの話題
100歳を迎えた二人に記念品/日出姫終焉の里記念碑建立/消防操法競技会/早池峰山登山ツアー/T・Kプロジェクトスタート/地域トピックス(小友町・松崎町)
- 20 ふれあい広場
わが家のアイドル/大きくなったら何になりたい?/サークルクラブ紹介/青春のトーク/ともに歩んで半世紀
- 22 おしらせ
- 24 保健福祉情報館
休日救急診療当番医/移動献血車まごころ号/おめでた/おくやみ など
- 25 市民カレンダー
- 26 遠野遺産
寺沢川溪谷



◎表紙の写真

「貴い命を守るため、大切な財産を守るため」日々訓練を重ねる消防団員。
6月15日に行われた第1回市消防操法競技会で、各町の消防団員の代表は日ごろ鍛えた消防技術を披露。1秒でも早く火点を目指し、全力で駆け抜けた。

農業との両立は大変だけど、
遠野産にこだわり楽しくやっています

菊池範子さん きくちのりこ 松崎町 60歳



「えごま煎餅」を完成させたJAとおのよつば女性部の菊池範子さん。
無農薬のえごまに遠野産の小麦粉とこだわりの煎餅は、サクサクした優しい食感が特徴で、常に品切れ状態と評判は上々。七年前からえごまの栽培に取り組んだ同会は「えごま油」や「えごま葉ドリンク」も開発。

「何かに使えないか」と考えた。そのときひらめいたのが煎餅だった。しかし、思いついたはいいが、作り方がわからない。そこで中央通りの老舗菓子店「鶴之屋」の店主菊池忠一さんに協力をお願いした。
農作業を終えてから毎晩六時に集まり、生地の作り方や焼き方の技術習得と試行錯誤の日々が続いた。商品化できるまでに要した期間は四カ月。今でも製造は、それぞれの仕事や家事が

終わる午後六時から。
「家族の協力のおかげで、楽しくやっています。商品が売れると、なんだか自分たちが認められているようでうれしくて」
「黒豆みそや「こだわりの甘酒」など、数々のヒット商品を生み出す女性たち。発想の原点は「捨てられたチラシ」。何かに使えないかと考える習慣が、次々とヒットを生む。すでに次の商品の構想も考えているとか。アイデアは尽きることがない。



Profile JAとおのよつば女性部部長。夫と夫の父母、長男夫妻、孫3人の9人暮らし。趣味は、裂き織りなどの手芸。
Memo JAとおのよつば女性部は、釜石、遠野、大槌、宮守の女性部が合併して平成6年3月に発足。現在の会員数1,217人。えごま部会のほか、黒豆部会や米米クラブなど、栽培作物ごとに活動を展開。女性ならではのアイデアで、常に新しいものに取り組んでいる。

特集

デジタルの波

2011年7月24日に迫った地上アナログテレビ放送の終了一。わたしたちの生活に欠かせない存在のテレビにいま、「デジタル」の波が押し寄せています。今月は、「地上デジタル放送」についてお伝えします。